

## 2021年度 小委員会活動成果報告

(2022年2月14日作成)

小委員会名	ルーラルデザイン小委員会	主 査 名：大沼正寛 就任年月：2018年4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	農村計画委員会	委員長名：神吉紀世子
設 置 期 間	2018年4月 ～ 2022年3月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルーラルベースドアーキテクチャ／デザインの研究ビジョンを構築する。</li> <li>・ルーラルデザインの価値創出、エリアの状況改善の可能性や課題について考察し、現代的潮流もふまえながらデザイン論・計画論の導出をめざす。</li> </ul> 初年度：年3回(予備1、本会2)の研究会開催。関東・関西・現地で各1回。 2年度：年3回(予備1、本会2)の研究会を開催。 3年度：年3回(予備1、本会2)の研究会、大会PD(代替企画)を実施。 ◎4年度：前年度に準じた委員会活動とこれまでのとりまとめ、次期活動計画をたて、あわせて次年度大会PD等の構想と連動した発信活動を検討する。	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有	
	主査：①大沼正寛(東北工業大学) 幹事：②平田隆行(和歌山大学)、③三笠友洋(西日本工業大学) 委員：④山崎寿一(神戸大)、⑤宮崎篤徳(関西大)、⑥下田元毅(阪大)、⑦稲地秀介(摂南大)、⑧佐藤圭一(福山大)、⑨池ノ上真一(北大)、⑩魚谷繁礼(建築家)、⑪菅原香織(秋美大)、⑫阿部正(建築家)、⑬津村泰範(長岡造形大)	
設置WG (WG名：目的)		
2021年度予算	140,000円	ホームページ公開の有無：無 委員会HPアドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	3回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. WEB公開研究会のとりまとめについて：編集方針を確定し、年度内にアウトラインをとりまとめるべく尽力した。達成度は半分程度である。 2. 後継小委員会活動と発信計画について、次期からは「地場の造形小委員会」へと転身することとなり、設置申請と公募開始にこぎ着けた。すなわち、小委員会での討議経過を次につなげるという目標について達成することができた。
委員会活動の問題点・課題	1. 当小委員会の特徴であるフィールド・コサーヴェイの実行が事実上不可能であり、各々の研究活動を結びつけることが困難であったこと 2. オンラインを併用した参集のあり方を再考する必要があること(次期の後継小委員会にて検討を重ねる)